

誰でも豊かに健康になれる 住環境 特別大講演会 (オンライン開催)

私たちは、周囲の環境から五感を通じて色々な情報を取り入れています。
そして、それらの情報に基づき、様々な意思決定をしています。
どのような環境に身をおくかによって、自分自身の脳に入る情報が変わり
心や脳の状態も変わってきます。
建築医学は、環境を整えることにより、身体の健康だけではなく、精神の健康
そして経済の健康をも実現することを目指しています。

一般社団法人日本建築医学協会 理事長 松永 修岳

■日程

2021年 4月 3日(土) 14:25~16:50

主催：脳の仕組みを知れば住まいは変わる
一般社団法人 日本建築医学協会

申込みはこちらから



講師

講演内容

■ 14:25~ 開会挨拶 (社) 日本建築医学協会 事務局長 小神 侑岳

■ 14:30~15:10



「トータルヘルス研究における建築医学研究報告 その6」

医師が住環境を処方する時代に向けて
住環境と関わる感覚及び脳神経系の仕組みなど
新型コロナ問題にも触れながら… (内容が変更になる場合もあります)

トータルヘルス研究所 所長 公衆衛生医師 落合 正浩 先生

■ 15:10~15:35



「コロナ禍に考える、これから必要な住宅性能とは」

家の温熱性能が健康寿命に影響を与える
免疫力を高める住環境とは
断熱・気密・計画換気・空調のポイント
さむい家は怒りっぽくなり、体も心も寿命も縮む
家族の絆が生まれ、体も心も健康になる住環境とは

株式会社ドクターズホーム 代表取締役 長谷川 仁龍 先生



■ 15:35 ~ 15:40 協賛企業紹介

■ 15:40 ~ 15:50 休憩

■ 15:50~16:30



「人生を形成する、住まい環境の重要性」

コロナ禍で浮き彫りになった住まいの重要性
いるだけでストレスがたまる住環境とは
建築医学は環境を整え、脳を整える
住環境が生活習慣を規定する
経済脳を活性化させる住環境とは

一般社団法人 日本建築医学協会 理事長 松永 修岳 先生



■ 16:30 ~ 16:50 質疑応答